

表（１） 支援学校「幼稚部・小学部共通」・「小学部」・「中学部」・「高等部」

校種等	模 擬 授 業 の 内 容
支援学校 幼稚部・小学部共 通、小学部	《特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 第２章 第１節 小学部 第２款 第１ 各教科の目標及び内容〔生活〕 ２ 各段階の目標及び内容》 ○２段階 (２) 内容 イ 安全 (イ) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けること。(P.83)
支援学校 中学部	《特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 第２章 第２節 中学部 第２款 第１ 各教科の目標及び内容〔職業・家庭〕 ２ 各段階の目標及び内容》 ○２段階 (２) 内容 職業分野 B 情報機器の活用 イ コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現すること。(P.184)
支援学校 高等部	《特別支援学校高等部学習指導要領 第２章 第２節 第１款 〔職業〕 ２ 各段階の目標及び内容》 ○２段階 (２) 内容 A 職業生活 ア 勤労の意義 (ウ) 作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むこと。(P.236)

表（２） 上記（１）以外の受験者

【小学校・小中いきいき連携】

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
小学校 小中いきいき連携	《小学校学習指導要領解説 国語編 第３章 第３節 第５学年及び第６学年の内容 ２ 〔思考力、判断力、表現力等〕》 B 書くこと (イ) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(P.139)
※ 国語・社会・ 算数・理科・英語 から一つ選択して 模擬授業を行うこ と。	《小学校学習指導要領解説 社会編 第３章 第４節 第６学年の目標及び内容》 (２) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。 (キ) 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解すること。(P.107)
	《小学校学習指導要領解説 算数編 第３章 第４節 ２ 第４学年の内容》 B 図形 (５) 角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 角の大きさを回転の大きさとして捉えること。 (イ) 角の大きさの単位（度（°））について知り、角の大きさを測定すること。(P.212)
	《小学校学習指導要領解説 理科編 第３章 第１節 ２ 第３学年の内容》 B 生命・地球 (１) 身の回りの生物 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 昆虫の育ち方には一定の順序があること。また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。(P.39)
	《小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 第２部 第２章 第２節 ２ 内容 〔第５学年及び第６学年〕》 (３) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 エ 話すこと〔発表〕 (ア) 時刻や日時、場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動。(P.108)

【中学校】

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・国語	《中学校学習指導要領解説 国語編 第3章 第3節 第3学年の内容 2 [思考力、判断力、表現力等]》 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。(P.120)
中学校・社会	《中学校学習指導要領解説 社会編 第2章 第2節 1 地理的分野の目標、内容及び内容の取扱い (2) 内容》 C 日本の様々な地域 (2) 日本の地域的特色と地域区分 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (1) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解すること。(P.57) 《中学校学習指導要領解説 社会編 第2章 第2節 2 歴史的分野の目標、内容及び内容の取扱い (2) 内容》 C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界 ア 次のような知識を身に付けること。 (1) 明治維新と近代国家の形成 (P.110) 《中学校学習指導要領解説 社会編 第2章 第2節 3 公民的分野の目標、内容及び内容の取扱い (2) 内容》 C 私たちと政治 (2) 民主政治と政治参加 ア 次のような知識を身に付けること。 (7) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解すること。(P.154)
中学校・数学	《中学校学習指導要領解説 数学編 第3章 第2節 2 第2学年の内容》 B 図形 (2) 図形の合同について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (1) 証明の必要性和意味及びその方法について理解すること。(P.110)
中学校・理科	《中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第1分野] 2 第1分野の内容》 (3) 電流とその利用 ア 電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (7) 電流 ① 電流・電圧と抵抗 金属線に加わる電圧と電流を測定する実験を行い、電圧と電流の関係を見いだして理解するとともに、金属線には電気抵抗があることを理解すること。(P.40) 《中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第1分野] 2 第1分野の内容》 (6) 化学変化とイオン ア 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (7) 水溶液とイオン ⑦ 原子の成り立ちとイオン 水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解すること。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを知ること。(P.58) 《中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第2分野] 2 第2分野の内容》 (1) いろいろな生物とその共通点 ア いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (7) 生物の観察と分類の仕方 ⑦ 生物の観察 校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。(P.75)

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・理科 ※四つの中から一つ 選択して模擬授業を 行うこと。	《中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第2分野] 2 第2分野の内容》 (6) 地球と宇宙 ア 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 天体の動きと地球の自転・公転 ⑦ 日周運動と自転 天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けて理解すること。(P.104)
中学校・音楽	《中学校学習指導要領解説 音楽編 第3章 第1節 第1学年の目標と内容 2 内容》 A 表現 (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。(P.37)
中学校・美術	《中学校学習指導要領解説 美術編 第3章 第2節 第2学年及び第3学年の目標と内容 2 内容》 B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。(P.101)
中学校・保健体育	《中学校学習指導要領解説 保健体育編 第2章 第2節 [体育分野] 2 内容 H 体育理論》 [第1学年及び第2学年] (1) 運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 運動やスポーツが多様であることについて理解すること。 (イ) 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。(P.189)
中学校・技術	《中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 第2章 第2節 3 技術分野の内容》 B 生物育成の技術 (1) 生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。(P.34)
中学校・家庭	《中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 第2章 第3節 3 家庭分野の内容》 B 衣食住の生活 (4) 衣服の選択と手入れ ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。(P.95)
中学校・英語	《中学校学習指導要領解説 外国語編 第2章 第2節 2 内容》 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 話すこと [発表] (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。(P.64)

【高等学校】

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・国語	≪高等学校学習指導要領解説 国語編 第2章 第2節 言語文化 3 内容≫ [思考力、判断力、表現力等] A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。(P.122)
高等学校・地理歴史 (日本史)	≪高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 第2章 第4節 日本史探究 2 内容とその取扱い≫ C 近世の日本と世界 (3) 近世の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈、説明、論述) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。(P.234)
高等学校・地理歴史 (世界史)	≪高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 第2章 第5節 世界史探究 2 内容とその取扱い≫ D 諸地域の結合・変容 (2) 世界市場の形成と諸地域の結合 ア 次のような知識を身に付けること。 (7) 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解すること。(P.319)
高等学校・地理歴史 (地理)	≪高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 第2章 第2節 地理探究 2 内容とその取扱い≫ B 現代世界の地誌的考察 (2) 現代世界の諸地域 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現すること。(P.105)
高等学校・公民 (政治・経済)	≪高等学校学習指導要領解説 公民編 第2章 第3節 政治・経済 2 内容とその取扱い≫ A 現代日本における政治・経済の諸課題 (1) 現代日本の政治・経済 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。(P.128)
高等学校・公民 (倫理)	≪高等学校学習指導要領解説 公民編 第2章 第2節 倫理 2 内容とその取扱い≫ A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (2) 国際社会に生きる日本人としての自覚 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解すること。(P.104)
高等学校・数学	≪高等学校学習指導要領解説 数学編 理数編 第1部 第2章 第6節 数学C 3 内容と内容の取扱い≫ (1) ベクトル イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。(P.117)
高等学校・理科 (物理)	≪高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第3節 物理 3 内容とその範囲、程度≫ (4) 原子 ア 原子について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 原子と原子核 ㊦ 原子とスペクトル 原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位との関係について理解すること。(P.78)

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・理科 (化学)	《高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第4節 化学基礎 3 内容とその範囲、程度》 (2) 物質の構成 ア 物質の構成粒子について、次のことを理解すること。また、物質と化学結合についての観察、実験などを通して、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 物質と化学結合 ⑦ イオンとイオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。(P.89)
高等学校・理科 (生物)	《高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第6節 生物基礎 3 内容とその範囲、程度》 (3) 生物の多様性と生態系 ア 生物の多様性と生態系について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。 (イ) 生態系とその保全 ④ 生態系のバランスと保全 生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識すること。(P.124)
高等学校・理科 (地学)	《高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第8節 地学基礎 3 内容とその範囲、程度》 (2) 変動する地球 ア 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、自然環境の保全の重要性について認識すること。 (ア) 地球の変遷 ④ 古生物の変遷と地球環境 地層や化石に関する観察などを行い、地質時代が古生物の変遷に基づいて区分されることを理解するとともに、地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動の相互の関わりを見いだして理解すること。(P.156)
高等学校・音楽	《高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編 第1部 第2章 第1節 音楽Ⅰ 3 内容》 A 表現 (2) 器楽 ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫すること。(P.33)
高等学校・美術	《高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編 第1部 第2章 第4節 美術Ⅰ 3 内容》 B 鑑賞 (1) 鑑賞 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞 (イ) 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。(P.123)
高等学校・書道	《高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編 第1部 第2章 第10節 書道Ⅰ 3 内容》 A 表現 (3) 仮名の書 ア 知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について構想し工夫すること。 (イ) 意図に基づいた表現 (P.286)
高等学校・保健 体育	《高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 第1部 第2章 第2節 「体育」 3 内容 H 体育理論》 (1) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 (ウ) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。(P.176)
高等学校・家庭	《高等学校学習指導要領解説 家庭編 第1部 第2章 第2節 家庭総合 2 内容とその取扱い》 B 衣食住の生活の科学と文化 (2) 衣生活の科学と文化 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。(P.68)

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・農業	《高等学校学習指導要領解説 農業編 第2章 第5節 作物 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (3) 作物の特性と栽培技術 ウ 栽培環境と生育の調節 (P.48)
高等学校・工業 (機械)	《高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第11節 機械設計 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (2) 機械に働く力 ア 機械に働く力と運動 (P.76)
高等学校・工業 (電気)	《高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第18節 電気回路 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (1) 電気回路の要素 イ 電気抵抗 (P.119)
高等学校・工業 (工業化学)	《高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第42節 工業化学 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (3) 元素の性質と化学結合 イ 化学結合 (P.265)
高等学校・工業 (工業デザイン)	《高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第57節 デザイン実践 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (3) ビジュアルデザイン ウ パッケージデザイン (P.361)
高等学校・工業 (土木)	《高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第40節 土木施工 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (2) 施工技術 イ コンクリート工 (P.252)
高等学校・英語	《高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編 第1部 第2章 第2節 英語コミュニケーションI 2 内容》 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。(P.46)
高等学校・商業	《高等学校学習指導要領解説 商業編 第2章 第3節 総合実践 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (5) 分野横断的・総合的な実践 (P.37)
高等学校・情報	《高等学校学習指導要領解説 情報編 第1部 第2章 第1節 情報I 2 内容とその取扱い》 (3) コンピュータとプログラミング ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解すること。(P.31)
高等学校・ 家庭・福祉共通	《高等学校学習指導要領解説 福祉編 第2章 第8節 こころとからだの理解 第2 内容とその取扱い 2 内容》 〔指導項目〕 (3) 発達と老化の理解 イ 老年期の理解と日常生活 (P.65)

【養護教諭、栄養教諭、支援学校・自立活動（肢体不自由教育）】

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
養護教諭	《小学校学習指導要領解説 体育編 第2章 第2節 [第3学年及び第4学年] 2 内容 G 保健》 (2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 体の発育・発達について理解すること。 (ア) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。(P.108)
栄養教諭	《小学校学習指導要領解説 特別活動編 第3章 第1節 2 学級活動の内容》 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。(P.47)
支援学校・自立活動（肢体不自由教育）	《特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部） 第6章 2 心理的な安定》 (1) 情緒の安定に関すること。(P.60)

◎ 表中に示されているページ番号は、文部科学省の「平成29・30・31年改訂学習指導要領（本文、解説）」のWEBページ（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）に掲載されている各学習指導要領または学習指導要領解説の該当箇所のページ番号を表しています。詳細な内容が別ページに記載されている場合もありますので注意してください。

◎ 模擬授業の内容に関する質問については、お答えできません。